

# 少人数教育で育まれた 表現力とコミュ力は 現在の仕事に役立っています

高橋 佐梨奈さん

卒業生

就職先 | 日清食品株式会社

中国言語文化専攻 2021年度卒業  
埼玉県立浦和第一女子高等学校 出身

## 未来を見越した先見性に感銘を受けて入社

世界共通の食を実現したいと思ったのが食品メーカーを志望した動機です。そんな思いで就職活動をする中、世界で初めてサイコロステーキ状の培養肉の作製に成功した日清食品に着目しました。肉食文化の発展に家畜の数が追いつかなくなると、近い将来お肉を食べることができなくなります。日清食品では「食創為世(しょくそういせい=食を創り、世の為につくす)」という創業者の精神を重んじていますが、目の前のニーズに応えるだけでなく、次の世代を見越して研究開発に注力する企業精神に可能性と魅力を感じました。希望した職種は営業です。大学時代、海外留学やテーマパークでのアルバイトの経験から、限られた時間内で工夫して表現することが得意でした。非計画購買が8割を占める即席めんは、売り場ではいかにお客さまに訴求できるかがポイントになるため、自身の強みを活かせると考えたのです。入社後は、自身が担当する企業(スーパーマーケット等)へのルート営業、定期的な商談や企画提案・店頭フォローなどに日々励んでいます。



## キャリア形成のきっかけとなった中国留学

大学時代は中国言語文化を専攻、1クラスの人数が少なく、自身の考えを発信する機会が多くありました。授業中は講義に耳を傾けつつ、自分なりの意見と発表の方法を思案するのに必死でしたが、それが「得意先はどう説明すれば納得いただき、提案を採用してもらえるか」という現在の仕事につながっています。また中国語を学びながら中国の情勢や文化的な背景をたくさん知ることで、自分以外の人への理解と受容といった社会人として必須のコミュニケーション能力が身についたと感じます。最も印象的なのは中国・上海への留学です。白門会(中央大学卒業生の同窓会)の方々には大変お世話になり、強く影響を受けました。この留学がなかったら今の仕事に就いていないと思うくらい、人生を動かすきっかけとなりました。

今後の目標は日清食品の商品を100年ブランドに育てること、お客さまに一番近い立場として商品とブランドの認知に努めています。将来は広報部やカップヌードルミュージアムでの業務も視野に、「日清食品をより好きになる原体験づくり」に携わっていきたいです。